



中野区議会議員 ● 無所属

佐藤ひろこ

うさぎだより

[事務所] 〒164-0001 中野区中野 1-33-9 TEL/FAX. 3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野 4-8-1 無所属控室 TEL. 3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail: usagidayori@hotmail.com 編集発行: 住民自治をすすめる政策研究会

年金問題だけでなく、防衛省を取り巻く不祥事も次々と明らかになり、国政への不信が止まりません。地域から政治を変えるために、中野区では新しい制度改革を次々と行っています。区民の暮らしに役立つかどうか、その真価がこれから問われます。区民の視点に立った区政になるように、質問に取り組みました。

2007年第三回定例会決算総括質疑 中野区政の評価と課題

前例にとらわれず、 区民の価値に基づく区政を



佐藤 日経新聞社が全国の自治体を評価し、「全国優良都市ランキング」として、2年に一度発表している。2006年の評価結果で、中野区は「行政革新度」は全国で14位、「行政サービス度」は38位、「子育て環境」は10位へと急速にランキングをあげた。「行政革新度」は、「市民参加度」「利便度」「効率化・活性化度」「透明度」の、4つの項目で総合的に評価される。「市民参加度」は8位で最も順位の高い項目。しかし、その項目に当たる「中野区の外部行政評価結果」は、「区民の意見・要望などが区政に反映されている」と思う区民の割合は悪化し、昨年85.3%がそう思わないという結果は、大いに問題がある。

と良くない。なぜか。区民自治推進課長 参加が区民に実感できるような取り組みを検討したい。

佐藤 「透明度」は4年前、20位にランキングされていた項目だが、2006年調査では上位100位にも入っていない。「透明度」の指標になっている項目(情報公開条例の知る権利の明記、行政評価結果の公開、首長交際費の使途の公開、指定管理者の選定プロセスや結果の公開など)をほとんど実施しているが、さらに政策が伝わるように改善するべきでは。

評価改善推進課長 外部へ積極的にアピールしていく。

佐藤 区民満足度の評価を大切にすべきだ。昨年、副区長

を3人とする条例が成立し、部長職を兼任し、かつ政策の責任を大きく背負う、政治的任用職としての特別職が新たに設置された。3人目の副区長が任命された。「計画・実行・評価・改善」のPDCA体制をさらに進めるために、3人の副区長の役割があるとのことだが、説明を。

経営課長 PDCAサイクルのうち、計画の政策室を西岡副区長、実行の経営室を石神副区長、評価・改善の管理会計室を沼口副区長が担当する。また、部を横断する重要な政策課題をそれぞれが担当。

佐藤 「前例にとらわれず、区民の価値に基づく」仕事を作っていくことは、言うは易く、行うは難し、まだまだ区民の立場に立てず、役所の都合で、ものごとをすすめてしまったり、新しいことに踏み出せなかったりすることがあるのではないかと。この課題についての区長の考えは。

区長 ランキングが上がっているから区民にとつていいサービスが提供されているのではない。職員が本当に区民起点の価値観で、情熱を持って仕事に取り組むことが大事だ。

高齢者住宅の充実を

社住宅への応募者は181人で、入居できたのは14人、入居率は7.7%。障害者用は応募者が17人で、入居できたのは2人、入居率は11.8%。応募者は増えているが、毎年入居率は低く、多くの人が入居できない状態が続いている。今後の福祉住宅の整備についてはどのように考えているのか。

都市計画課長 区が住宅を直接整備することは後年度負担を考えると現実的でない。今後、民間活用で福祉的な住宅を誘導していく。

佐藤 十カ年計画の目標は、高齢者向け住宅の誘導1棟50戸となっている。1棟では二丁目に追いつけない。さらに増やす考えはないか。

都市計画課長 本町4丁目に高齢者向け20戸、ファミリー向け30戸予定している。新井4丁目の区営住宅の土地にも民間活用で整備する予定。

佐藤 高齢者の入居を拒まない「高齢者円滑入居賃貸住宅」の登録戸数の十カ年計画の目標は500戸だが、どのように目標を達成するのか。

都市計画課長 住み替え支援の協力店は109店の不動産屋が登録しているが、それを増やし、債務保証サービスの活用を推進して円滑入居の登録戸数を増やしていきたい。

雇用支援を

佐藤 障がい者雇用や環境への配慮を行う「総合評価入札制度」導入に向け、昨年度は高齢者、障がい者雇用などを評価項目に入れた選定を行った。障がい者雇用の条件を満たせる事業者の状況はどうか。

経営室特命課長 指名競争入札の区外業者選定の際に、試行的に高齢者・障がい者の雇用状況を参考にしたが、障がい者は2割程度の業者しか採用していない状況だった。

佐藤 障がい者雇用の条件を満たす事業者を増やすことが必要。大阪府豊中市では、就労困難者（障がい者・母子家庭の母・高齢者等）の相談と、無料職業紹介を行い、求人情報の収集を通して助成制度の説明などを行い、地域就労を支援している。中野区でも事業主へ、就労困難者の雇用に関する情報提供などの働きかけを。

産業振興参事 中野区のホームページに求人就労支援サイトを開設した。その中で障がい者雇用促進の啓発も行いたい。

佐藤 中野区政策研究機構の研究課題の一つに、「障がい者の雇用促進策」を取り上げているが、取り組み理由と目標は。

区民自治推進課長 障がい者

の自立を進めるために身近な地域で一般雇用を進め就労の場をつくることは重要な課題。障がい者、事業者双方にメリットのある政策を来年3月までに示すことが目標。



高崎市にある通所施設で行っている、ホッチキス針の箱詰めは、マックス社創業者の遺言で知的障がい者の仕事として機械化されていない。

一般質問

障がい者の地域生活支援の拡充を

佐藤 「日中一時支援」の場所を、今年度中に3ヶ所増やす計画だが、足踏みしている。「緊急一時保護」の場も必要だ。通所施設の活用や、高齢者用の小規模多機能介護施設を、障がい者や子どもの「日中一時支援」や「ショート」にも利用できるように。通所施設に毎日通えない人のために、「地域活動支援センター」を併設したいとの声が作業所などから出されている

が実現を。これら「地域生活支援事業」の拡充に向けての、区長の考えは。

区長 地域生活支援事業は障害者の社会生活を支える重要な事業。「日中一時支援」は通所施設など新たな施設での実施に向けて、事業者との協議をすすめるのはかる。「地域活動支援センター」についても早期に増設できるようにする。

佐藤 障害者自立支援協議会の準備がすすめられているが、機能が協議会にしていることが重要だ。障がい別、事業別など、障がい当事者と民間事業者・区職員がしっかりと議論できる部会の設置と、部会を連携させる事務局体制が必要だ。

区長 自立支援協議会は現在設置の準備をしている。協議会の中に相談支援や就労支援の部会を設置していく。事務局は区が主体となって運営し、事業者等と連携をとっていく。

「すこやか福祉センター」を利用しやすい

佐藤 子ども、高齢者、障がい者など地域の総合相談窓口「すこやか福祉センター」が仲町小跡に2009年度開設される。そこに移転予定の「中野地域包括支援センター」と「精神障害者社会復帰センター」は民間委

託される。民間の力を生かして協同で公共サービスを担うために、行政の責任体制は。

区長 地域包括支援センターも当初一箇所は直営にしたが委託先の運営も円滑になってきたので、事業者のノウハウが生かせるようにしたい。精神障害者社会復帰センターも運営の成果を委託によって拡充できると考える。事業に関わる情報交換や運営会議など区としても必要な関与を行う。

佐藤 「すこやか福祉センター」では、高齢者相談と障がい者相談は民間委託で行われ、子育て相談と健康相談は区の職員が行う。複数の民間事業者と区職員が、初めて一緒に仕事することになる。民間との連携をしっかりと行い、総合相談窓口の調整に責任を持つ体制を。

区長 子育てや保健福祉に関する相談の総合調整機能は、区の職員を配置し、委託事業者などと連携しながら必要なサービスにつなげていく。

佐藤 仲町小跡で障がい者相談を行うので、スマイル中野の障害者相談窓口「つむぎ」をなくそうという考えもあるようですが、仲町小はバス停から遠くわかりにくく、中野全域の障がい者は相談に来られない。「つむぎ」の相談件数はピアカウンセリングなど年々増えている。

「つむぎ」を、交通の便がよい「スマイル中野」に残すべきだ。**区長** つむぎの役割は定着してきている。機能を検討した上で結論を出したい。

佐藤 仲町小跡に移転をする「中野地域包括支援センター」は、上高田までと担当範囲が広く、他より倍の人数を受け持っている。場所もわかりにくく遠いので、「出張相談」に力を入れるとのことだが、出向くための相談員や保健師など職員体制の充実を。

区長 さまざまな機能が発揮できるように、必要な職員を配置し組織を作っていく。

障がいのある子どもを持つ親の心の相談を

佐藤 悩みを聞く場が必要。「親と子心の相談」で継続的な支援を。また、障がい児を抱える母親の「グループカウンセリング」を実施できないか。

子ども家庭部長 必要に応じて保健師などが訪問し対応している。アポロ園以外の場所でもグループ支援を充実する。

佐藤 医療的ケアが必要な子ども達も利用できる、「緊急一時保護」の場所の確保を。

子ども家庭部長 現状では北療育センターのショートなどを紹介している。

厚生委員会 たくさんの議論

他の委員会は2日間だったが、厚生委員会は議題が多く3日間議論。陳情審査は4件。「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術代の助成」「東中野地域における子どもの遊び場の確保」「住宅上空における鳩の群翔の禁止と防疫措置の実施」の陳情は継続審議。報告事項は23件。その中から。



- 1 中野区有施設耐震改修計画案**
寄せられた区民意見の報告。本郷保育園の耐震改修が議論に。来年度から園児の募集を停止し、工事の間保育園を休止する。その間どこで受け入れるのが問題に。
- 2 施設使用料の見直しの考え**
区民意見交換会の意見の報告。人件費や建物の減価償却費なども入れて使用料を算定。非常利活動で区民の利益になる子育てや福祉などの活動には使用料を全額助成。公益性の高い文化・スポーツ活動には5割3割助成。11月末の議会に条例改正案提案予定。2008年7月から改定予定。
- 3 食育推進アクションプログラム**
「おいしいね!なかの」策定
小学4年生が毎朝朝食を食べる割合は79.9%。これを90%以上にすることなどを目指し、さまざまな区民運動を行う。
- 4 認定こども園の事業者募集**
区立やよい幼稚園、みずのとう幼稚園を民設民営の0~5才児を対象にした認定こども園に転換。2010年度から区の土地建物を20年間原則有償で貸して開設予定。
- 5 新桃が丘保育園の設計図**
2009年4月開設予定。現在より定員は20名増の110名。20時15分まで保育時間延長。在宅乳幼児親子の子育て支援。一時保育室も確保。社会福祉法人さゆり会が建設・運営。
- 6 桃丘小学校跡地活用基本方針案**
統合新校桃花小が開校になり、桃丘小は2008年3月末閉校。4月から3カ年は桃が丘保育園・学童クラブ・体育館・特別支援学級として暫定利用。その後、文化芸術活動支援施設と産業企業関係、防災拠点などを。地域からは子ども関係に使いたいとの要望。区民との議論を経て6月に跡地活用基本計画を決定予定。
- 7 学童クラブ運営に民間活用方針**
学童クラブの希望者は増加。区は定員拡大をしてきたが、国の方針で70名をこえる学童クラブの解消が示される予定。学童クラブの職員も大量定年退職を迎えることから、今後は民間の力を活かして学童クラブの維持と増設を行う方針。民設学童クラブは2008年度桃一小地区・江原小地区に予定。児童館内の学童クラブを民間委託。2008年度に谷戸学童クラブ委託予定。
- 8 子ども家庭を支える地域づくり**
地域子ども家庭支援センター
2008年10月から、南中野・仲町・丸山・鷺宮の児童館に開設。
U18プラザ
(乳幼児親子から中高生までを対象)

- 2008年10月から、城山ふれあいの家で実施。2009年度は8箇所に広げる。
- キッズ・プラザと学童クラブ
2008年3月北江古田・仲町学童クラブ統合。6月桃が丘学童クラブ・桃丘小跡地。10月塔山学童クラブ・キッズプラザ塔山小へ。2009年度東中野学童クラブ・キッズプラザ昭和小へ。2007年11月末区議会に条例の一部改正案提案予定。
- 青少年委員・地区教育懇談会の見直し
行政のバックアップが不十分だったので、共に活動できるように新制度を2008年3月につくる。
- 9 児童館安全安心メールの配信**
11月から事件や災害時の情報などを児童館や学童クラブ利用の保護者などに配信。
- 10 男女共同参画基本計画案**
計画のシンボルプロジェクトは「ワーク・ライフ・バランス(ささまざまな暮らし方の応援)」と「暴力防止」
- 11 東京警察病院への要望事項**
2008年4月、東京警察病院が警察大学跡地に開院。病床数は約430床。診療科目は産婦人科・小児科・脳神経外科・精神科・リハビリテーション科など19科目。中野区は救急医療機能や災害時の拠点機能などが十分發揮されるように協議を行ってきた。要望事項で合意されたものは、女性専用外来の開設、災害時の臨時病床の確保など24項目。実現が困難なものは新生児集中治療室の設置など3項目。継続的に協議する事項は、24時間体制の小児救急診療の実施など3項目。小児科医の確保の問題が大きい。
- 12 成年後見制度推進機関検討委員会**
成年後見制度の利用促進を図る。中野区の推進機関を来年度設置するための検討委員会がはじまった。
- 13 民間福祉サービス紛争調停委員**
10月から全国でもはじめての、民間福祉サービスを対するオンブスマン制度が中野区で始まった。苦情を受け、紛争の調停にあたる。苦情士など3人の委員が決定。苦情は区役所6階地域ケア分野へ。
- 14 中野区障害者自立支援協議会**
いよいよ11月スタート。障害者が地域で自立した生活が営めるように、相談支援を充実させ、サービスの質の向上、改善、新たな事業の提案など、障害福祉に関わる者が経験、アイデアなどを持ち寄り、個別ケア会議、課題別検討部会、全体会で構成。障害福祉計画改定に向けた提言も行う。
- 15 路上生活者対策事業の再構築**
都区共同で、相談、一時保護、就労支援、借り上げアパートへの移行など、一貫的な支援を行う。入所定員70名の「新型自立支援センター」を、各区5年間の持ち回りで設置する。中野区では2009年度公共用地を選定し建設予定。
- 16 後期高齢者医療制度の検討状況**
2008年度から75歳以上の後期高齢者の医療保険は、東京都広域連合で行う。広域連合協議会で保険料などが議論されている。一人平均年額約10万円と試算されている。
- 17 特定健康診査等実施計画案**
国の法律で40~74歳を対象に、メタボリックシンドロームに着目した検診・保健指導が義務づけられた。2008年度から5年間の中野区の健診の実施計画を作成。
18 2006年度介護保険の状況
65歳以上の高齢者人口は高齢化率18.7%と増加。要介護などの認定者数は増加傾向だったが、昨年度から減少。江古田の森の介護施設が開設したのに、まだショートステイが始まっていないことなどが問題になる。

佐藤ひろこの収支報告

2007年8月~10月

		8月	9月	10月
収入	報酬	647,000	647,000	647,000
	費用弁償	6,000	3,000	27,000
支出	税金	78,380	78,380	78,380
	年金・保険	160,530	160,530	160,530
	活動費	58,611	44,669	72,223
	積み立て	6,000	3,000	27,000
残		¥349,479	¥363,421	¥335,867

*議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。本来ならなくすべきだ。区に返すことは法的にできないので積み立て、区外の団体に寄付をしている。今回は女性の緊急一時保護施設へ寄付。

区民の方の相談から

中学校で学びたい
1年令が過ぎていたために外国から来た子どもが中学に入れない状態に。関係者の努力でやっと入れた。

タクシー券の見直しを
希望者には郵送で届けることができるように。タクシー料金の値上げにともない、タクシー券の増額の検討も。

胃がん検診の見直しを
陽性になった人は精密検査をすすめられ、4年間胃がんの区民検診を受けられないのはおかしい。

ホームページの日記から

<http://homepage2.nifty.com/usagidayori/>

遊々（ゆうゆう）の森

8月20日
中野区が林野庁と昨年協定を結び、軽井沢林間学園で活用している森。中央中学の林間学園を見学。NPOの方々の指導で子ども達が林業体験。用地取得をしなくても、自然体験の場を広げることができる。区民も利用できる。



容器・包装プラスチック資源回収

10月3日
私の住む中野二丁目、プラスチック製容器・包装の資源回収が始まった。今まで不燃ゴミとして埋め立てられていた容器・包装プラスチックが、資源として回収され、建材などにリサイクルされる。「プラマーク」がついているものは全て、プラスチック資源回収の日に出す。気をつけて見ると小さなお菓子の包みにも「プラマーク」。納豆容器も洗えば資源として出せる。不燃ゴミの

日に出すゴミがほとんどなくなった。来年10月からは中野区全域で、容器包装プラスチックの資源回収が始まる。



養育家庭体験発表会

10月19日
さまざまな事情で家庭で生活できない子ども達が東京都で約3700人いる。ほとんどが養護施設にいますが、約8%が、里親という養育家庭で育てられている。養育家庭は少なく、中野区でも7家庭しかない。里親は短期間でもよくて、原則として1ヶ月以上。25歳以上65歳未満が条件だが、短期の預かりは65歳以上でもで

「原爆症認定の在り方の見直しと被爆者の早期救済に関する意見書」全会一致で可決

長崎の原爆で私の叔父は亡くなった。兄弟が探しに行つた時、叔父が着けていたベルトのバックルしか見つからなかった。多くの命が一瞬にして奪われ、約25万人の被爆者が健康不安に苦しんでいる。しかし、原爆症と認定され、医療特別手当を受給している被爆者は、わずか0.88%。認定のあり方を

見直し、高齢化する被爆者を一刻も早く救済するべきだ。

傍聴してね！

◆ 次の議会は ◆
11月27日(火)12月10日(月)
陳情/切は11月16日(金)

佐藤ひろこの活動日記から

- 8月
- 1 日本社会福祉事業大学セミナー「当事者運営サービスの評価」
 - 2 厚生委員会
 - 4 小田実さん告別式
 - 5 障害者の政治参加をすすめるネットワーク
 - 6・7 豊中市・箕面市の障害者就労支援策を視察
 - 13 国際交流協会夏休み子ども日本語クラス見学 おでんくらぶ(障がいのある子どもの親の会)
 - 14 高麗博物館見学
 - 17 国際交流協会夏休み日本語クラス修了式
 - 18 「私の見たアウシュビッツ」講演会
 - 20 軽井沢少年自然の家ゆうゆうの森林間教室見学
 - 23 障害者防災委員会
 - 27 虹と緑政策研究会
 - 29 人権を考える講座「日朝韓のはざまで一架け橋となる在日」
 - 30 財政問題ヒヤリング・環境対策特別委「地球温暖化防止」
 - 31 精神障害者作業所ヒヤリング
- 9月
- 1 「社会生活力を高める支援」公開研修会
 - 3 公会計改革ヒヤリング
 - 11 防災対策特別委員会
 - 12 厚生委員会
 - 13 補正予算内示
 - 14 私立保育園園長会と懇談
 - 15 立教大学大学院中村ゼミ合宿特別参加
 - 16 山中湖情報創造館見学(24時間対応の図書館)
 - 17 韓国ソウル市陽川区訪問団歓迎会
 - 20・21 第三回定例区議会本会議
 - 24 人権を考える講座「国籍問題から人権を考える」
 - 25 本会議 佐藤ひろこの質問
 - 26・28 決算特別委員会 総括説明
 - 29 認証保育園ベビーサロン中野運動会
- 10月
- 1~3 決算特別委員会・佐藤ひろこの質問
 - 4~9 決算特別委員会厚生分科会
 - 6 七海保育園親子運動会・中野まつり
 - 9 おでんくらぶ・子ども健康課長と
 - 11 決算特別委員会・決算認定
 - 12 本会議
 - 13 北村年子さん講演会・東部まつり・障害者会館まつり
 - 14 オレンジミントもぐもぐの会
 - 15 私立幼稚園楽しい園児の集い・日朝23区議員交流会
 - 16~18 厚生委員会
 - 19 防災対策特別委員会・養育家庭体験発表会
 - 20 谷戸まつりで喫茶コーナーをお手伝い
 - 21 小中学校特別支援学級連合運動会・消防団合同点検 丸山塚まつり・東中野まつり
 - 22 タッチの会・共同作業所連絡会寄席
 - 23 国際交流協会ボランティアスキルアップ講座
 - 24 本会議
 - 26 清掃事務所視察・中野区消費生活展
 - 27 豊中五中同窓会・中野区ガバナンスフォーラム2007

御案内

「不都合な真実」連続上映会

地球温暖化の危機を訴える衝撃の記録映画
入場無料。

- 11月29日(木) 19:00~21:00
中野ゼロ小ホール
- 12月8日(土) 14:00~16:00
中野二中
- 12月16日(日) 19:00~21:00
野方W1Z

主催 中野区・各区民団体実行委員会

障害者の防災について交流会

12月23日(日)13:30~16:30
中野勤労福祉会館
多目的ホール
無料



人権を考える講座 第3回

「在日の障害者から人権を考える」

お話 金 政玉さん
(DPI障害者権利擁護センター所長)

1月14日(月)14:00~16:00
中野勤労福祉会館 大会議室

主催 住民自治をすすめる政策研究会